



鳥類 *Birds*

弥栄ダム周辺には、多くの水鳥や陸鳥が生息しています。

水鳥は河川や湖周辺に生息し、水面や水辺、河原やその周辺環境を利用しています。陸鳥は水辺も利用しますが、主に森林や草地に生息しています。ダム周辺の環境を、生息や繁殖、休息の場として利用する多様な鳥類がみられます。

また、1年中みられる種だけでなく、夏に繁殖のために渡来する鳥や、冬に越冬のために渡来する鳥など、四季を通して様々な種類がみられます。

ここでは、弥栄ダム周辺でみられる代表的な30種を紹介します。

※解説文中では、鳥の渡り区分を示すため、以下の用語を使用しています。

留鳥：弥栄ダムで一年中見られる鳥。

夏鳥：春に日本より南の地域から渡ってきて繁殖し、秋には南の地域へ去っていく鳥。

冬鳥：秋に日本より北の地域から渡ってきて冬を越し、春には北の地域へ去っていく鳥。

キジ *Phasianus colchicus*



- **分類**
キジ目キジ科
- **渡り区分**
留鳥
- **重要種指定**
指定なし

特 徴

全長はオスが約80cm、メスが約60cm。
体は丸みがあり、くちばしや足は短く丈夫です。オスは顔が赤、首が紫、胸が緑、羽が茶や灰色などと、色彩豊かなのに対して、メスは全身茶色で地味な色合いです。
飛ぶこともできますが、おもに地上を歩いて生活します。植物の芽や種子、昆虫やクモなどを食べます。
繁殖期のオスは「ケーン、ケーン」とよく鳴きます。

生 息 場 所

平地や山地の草地、農耕地、雑木林、低木林、河原の草地に生息します。
弥栄ダム周辺では、ダム下流の小瀬川、弥栄湖およびその周辺、弥栄湖上流の小瀬川で見られます。

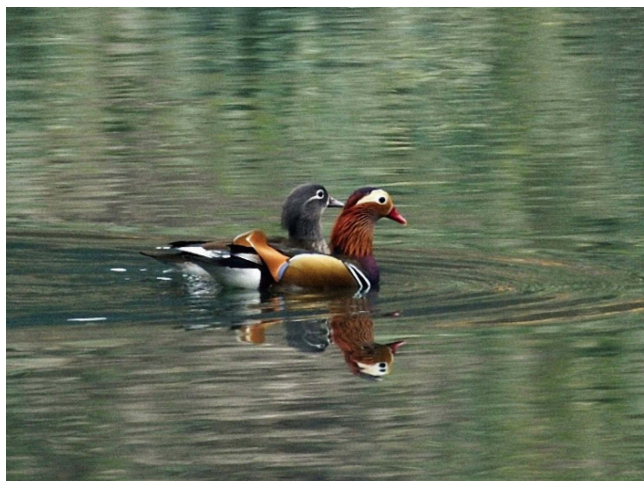
繁 殖

繁殖期は4～7月。
草地や低木林、農耕地周辺の草地で繁殖します。

生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
繁殖期													草地、低木林、農耕地周辺の草地
出現時期													平地や山地の草地や低木林、河川敷

オシドリ *Aix galericulata*



- **分類**
カモ目カモ科
- **渡り区分**
冬鳥
- **重要種指定**
情報不足【環境省】
要注意種【広島】
準絶滅危惧【山口】

特 徴

全長はオスが約50cm、メスが約40cm。
他のカモ類に比べて頭部は大きく、長い尾をもっています。オスは顔は白く、くちばしは赤色、胸は紫色で、翼の一部がオレンジ色のイチヨウの葉の形をしているなど、大変美しい色彩が目立ちます。メスは全身が灰褐色で、目の周りが白くなっています。
植物食で、ドングリをはじめ、さまざまな草木の実を食べます。
「クイツ」という甲高い声を発し、夕方には飛びながら「ヒーヨ、ヒーヨ」とヒヨドリに似た声で鳴くこともあります。

生 息 場 所

山間の溪流や山地の湖などに生息します。越冬期には、水辺の倒木や裸地で、群れで休息している姿をよく見かけます。
弥栄ダム周辺では、ダム下流の小瀬川、弥栄湖およびその周辺、弥栄湖上流の小瀬川で見られます。

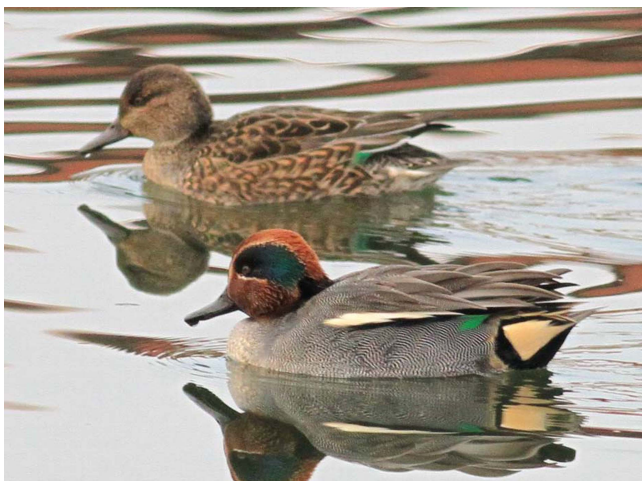
繁 殖

繁殖期は4～7月。弥栄ダム周辺では冬鳥で、繁殖期には北国へ渡っています。（県北部では繁殖する個体もいます）。

生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
出現時期													山間の溪流や湖

コガモ *Anas crecca*



- **分類**
カモ目カモ科
- **渡り区分**
冬鳥
- **重要種指定**
指定なし

特 徴

全長はオスが約40cm、メスが約35cm。小型のカモです。
オスは体が明るい灰色、頭は赤みのある茶色で、目の周辺には濃い緑色の帯（パッチ模様）があります。また、お尻の横に黄色い三角模様があるのが特徴です。メスは全体にこげ茶色です。オス、メスとも羽の一部（翼鏡）が緑色になっています。
おもに水辺の石についた藻類や、イネ科植物などの草の実を食べます。
オスは「ピリッ、ピリッ」、メスは「クエークエー」などと鳴きます。
冬になると、オスがメスに対して首を持ち上げて胸を上を反らす求愛行動がみられます。

生 息 場 所

湖沼、川、池などに生息します。
弥栄ダム周辺では、ダム下流の小瀬川、弥栄湖およびその周辺で見られます。

繁 殖

繁殖期は4～8月。弥栄ダム周辺では冬鳥で、繁殖期には北国へ渡っています。

生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
出現時期													湖沼、川、池

キジバト *Streptopelia orientalis*



- **分類**
ハト目ハト科
- **渡り区分**
留鳥
- **重要種指定**
指定なし

特 徴

全長は約30cm。
全体にややブドウ色をおびた灰色で、首には青と黒のしま模様があります。羽の縁ひとつひとつが明るい茶色になっており、翼全体ではウロコ模様にみえます。
地上の草の実や木の実を食べます。
オスはおもに繁殖期になると「デッデ、ポッポー」と低い声で繰り返し鳴きます。
ドバトとよく似ていますが、翼が茶色のウロコ模様にみえること、首に青と黒のしま模様があることで区別できます。
多くの鳥は水を飲む際、くちばしに水を一口ふくみ、次に上を向いてノドに流し込みますが、キジバトを含むハト類は下を向いたままポンプのように水を吸い上げ、ゴクゴクと飲むことができます。

生 息 場 所

低地からやや高い山地まで広く生息します。特に畑地や集落周辺の雑木林に多くみられます。
弥栄ダム周辺では、ダム下流の小瀬川、弥栄湖およびその周辺、弥栄湖上流の小瀬川、長谷川など広い範囲で見られます。

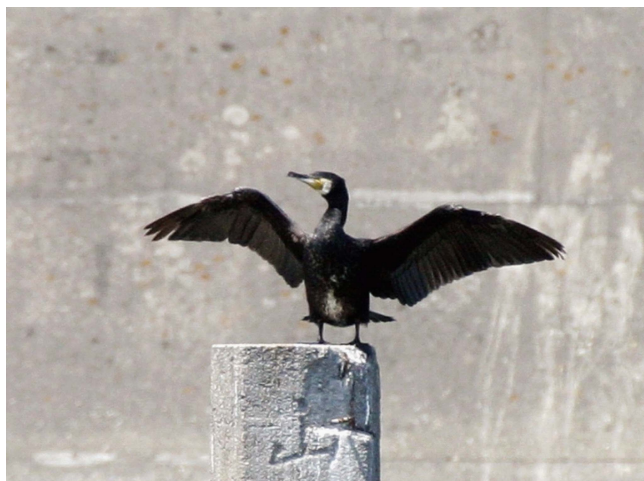
繁 殖

繁殖期はおもに4～6月。
木の上の枝上で繁殖します。小枝を粗く組み、浅い皿型の巣をつくります。

生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
繁殖期													樹上の横枝
出現時期													畑地や集落周辺のかん木等の枝上

カワウ *Phalacrocorax carbo*



- **分類**
カツオドリ目ウ科
- **渡り区分**
留鳥
- **重要種指定**
指定なし

特 徴

全長は約80cm。
体は全体的に黒く、先の曲がった黄色いくちばしをもっています。目は緑色をしています。
水かきが発達しており、水中で魚をとらえるのが得意です。
「グルルル」や「ゲーッ」などと鳴きます。
天気の良い日には水辺で羽を大きく広げて乾かす姿をよくみかけます。
1970年代には絶滅が危惧されるほど個体数が減少しましたが、その後は回復し、現在は漁業被害（アユなど有用魚の捕食被害）や林業被害（集団営巣で排出される大量のフンによる樹木の枯死）が各地で問題になるほど増加しています。

生 息 場 所

内湾や湖沼などの水辺に生息します。
弥栄ダム周辺では、ダム下流の小瀬川、弥栄湖およびその周辺で見られます。

繁 殖

繁殖期は11～6月。
高い樹木の上に集団で営巣します。おもに枯れ枝を積み重ねた大きな巣を作ります。

生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
繁殖期													内湾や湖沼の林の樹上
出現時期													内湾や湖沼、河川など

アオサギ *Ardea cinerea*



- **分類**
ペリカン目サギ科
- **渡り区分**
留鳥
- **重要種指定**
指定なし

特 徴

全長は約90cm。
日本でみられるサギ類の中では最も大きな鳥です。
くちばしと足が長く、全体に灰色に見えます。頭の後ろには黒いかざり羽、首の前側には黒色の縦斑が数本あります。
水辺で魚類のほか、ザリガニやカエルなどを食べます。
他のサギ類と似た「グアーッ」という声や、飛翔中に「キャッ」という声を発します。
水辺などで首をS字型に縮め、食べ物を探す姿がよくみられます。

生 息 場 所

河川、池、湖沼、水田、干潟、海岸など水辺に広く生息します。
弥栄ダム周辺ではダム下流の小瀬川、弥栄湖およびその周辺、弥栄湖上流の小瀬川で見られます。

繁 殖

繁殖期は4～9月。
山麓、丘陵、集落付近の森林、竹藪、河畔林などの高い樹木の上に集団で営巣します。木の上に小枝を積み重ね、大きな皿型の巣を作ります。

生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
繁殖期													竹藪、河畔林などの木の上
出現時期													河川や湖沼、水田などの水辺

ダイサギ *Egretta alba*



- **分類**
ペリカン目サギ科
- **渡り区分**
留鳥
- **重要種指定**
指定なし

特 徴

全長は約90cm。

くちばしと首、足が長く、体は純白。くちばしは、夏は黒色ですが冬には黄色になります。

肉食性で、水辺に静止しながら魚がやってくるのを待ち、首をすばやく伸ばしてつかまえる姿がよくみられます。他にはザリガニやカエルなども捕食します。

繁殖期に「ゴアーッ」などと鳴くことがあります。

飛ぶときは長い首をZ字形に縮め、足を後ろへ伸ばし、直線的に飛びます。

コサギと似ていますが、体が大きいこと、足が指先まで黒いことで区別できます。

生 息 場 所

海岸や湖沼、河川などの水辺に広く生息します。

弥栄ダム周辺では、ダム下流の小瀬川で見られます。

繁 殖

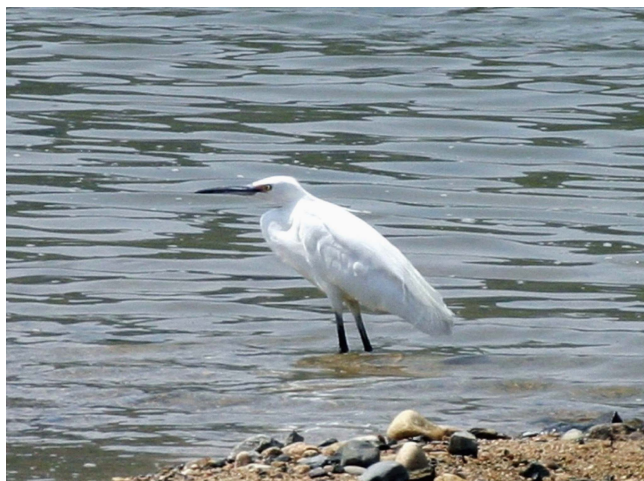
繁殖期は4～9月。

平地や丘陵地の雑木林、竹藪、河畔林などに、他のサギ類と集団で繁殖します。木の上に小枝を積み重ね、大きな皿型の巣を作ります。

生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
繁殖期													竹藪、河畔林などの木の上
出現時期													河川や湖沼、水田などの水辺

コサギ *Egretta garzetta*



- **分類**
ペリカン目サギ科
- **渡り区分**
留鳥
- **重要種指定**
指定なし

特 徴

全長は約60cm。

くちばしと首、足が長く、体は純白。足とくちばしは黒く、足の指は黄色くなっています。夏場には頭に2本の長い羽（冠羽〔かんう〕）がみられます。

水辺を歩きながら、首をすばやく伸ばしてエサをつかまえます。魚類を食べますが、ザリガニやカエルなども食べます。

繁殖期に「ゴアーツ」などと鳴くことがあります。

飛ぶときは長い首をZ字形に縮め、足を後ろへ伸ばし、直線的に飛びます。

ダイサギと似ていますが、体がずっと小さいこと、足の指が黄色いこと、夏場に冠羽があることで区別できます。

生 息 場 所

水田、河川、湖沼、干潟などの水辺に広く生息します。

弥栄ダム周辺では、ダム下流の小瀬川、弥栄湖およびその周辺で見られます。

繁 殖

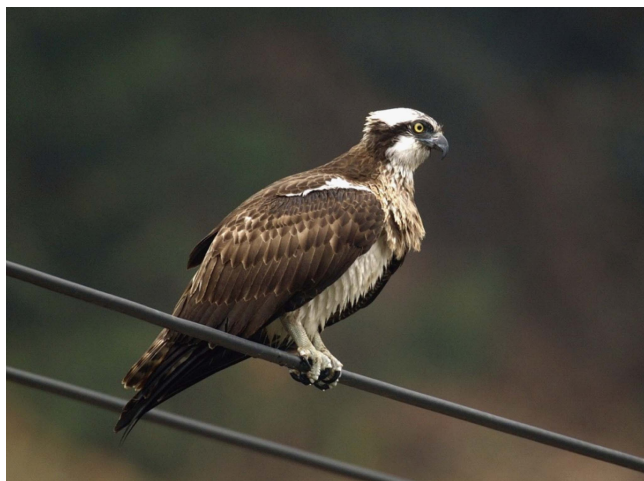
繁殖期は4～9月。

丘陵地や、村落付近の森林、竹藪、河畔林などの木の上で、他のサギ類と集団で繁殖します。木の上に小枝を積み重ね、皿型の巣を作ります。

生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
繁殖期													竹藪、河畔林などの木の上
出現時期													河川や湖沼、水田などの水辺

ミサゴ *Pandion haliaetus*



- **分類**
タカ目ミサゴ科
- **渡り区分**
留鳥
- **重要種指定**
準絶滅危惧【環境省】
準絶滅危惧【山口】

特 徴

全長はオスが約55cm、メスが約65cm。
細長い翼をもつ猛きん類です。頭は白く、体の背中側は黒ずんだ茶色で、腹側は白色が目立ちます。胸には茶色い帯がありますが、オスは幅が狭く淡いものが多く、メスは逆に幅が太く色の濃い傾向があります。
魚食性で、空から急降下して河川や海に飛び込み、水面近くの魚を足で捕まえます。
あまり鳴きませんが、「ピョッ、ピョッ」と鋭い声を出すことがあります。

生 息 場 所

海岸、大きな河川、湖などに生息します。
弥栄ダム周辺では、ダム下流の小瀬川、弥栄湖およびその周辺で見られます。

繁 殖

繁殖期は4～7月。
海や湖沼などに面した絶壁や岸辺、水辺に近い森林中の木の上で繁殖します。岩の上や岩棚、木の枝上に枯枝を積み重ね、大きな皿状の巣を作ります。

生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
繁殖期													海洋、湖沼などに面した絶壁や 海岸、森林中の木の枝上
出現時期													海岸、大きな河川、湖

トビ *Milvus migrans*



- **分類**
タカ目タカ科
- **渡り区分**
留鳥
- **重要種指定**
指定なし

特 徴

全長は約65cm。
全体的にこげ茶色の体です。尾はやや長く、先が角ばり、中央部がへこんでいるため、浅いM字型にみえます。飛ぶと翼の左右両側に大きな白色斑が見えるのが特徴です。
生きた動物を襲うことは少なく、死んだ魚などを食べます。
空をゆっくり旋回しながらはばたき、「ピーヒョロロ」と鳴く姿がよくみられます。

生 息 場 所

平地から低山地にかけての平坦な農耕地、海岸、水田、河川、湖沼の周辺に広く生息します。
弥栄ダム周辺では、ダム下流の小瀬川、弥栄湖およびその周辺、弥栄湖上流の小瀬川、長谷川など広い範囲で見られます。

繁 殖

繁殖期は2～9月。
市街地や村落周辺にある山林などで繁殖します。高い木の上に枯枝を積み重ね、皿状の巣を作ります。

生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
繁殖期													山林の高い木の上
出現時期													平坦な農耕地や水域の周辺など

カワセミ *Alcedo atthis*



- **分類**
ブッポウソウ目カワセミ科
- **渡り区分**
留鳥
- **重要種指定**
指定なし

特 徴

全長は約20cm。

羽や背中には光沢のある鮮やかな青色ですが、見る角度によって緑色にも見えます。腹はオレンジ色です。

魚類やエビ、水生昆虫、カエルなどを食べます。水上につき出た木の枝や杭の上に止まり、獲物を見つけると水中にダイビングして捕らえます。

「ツッチーツツ、ツッチー」などと高く鋭い声で鳴きます。

カワセミは漢字で「翡翠」と書きます。宝石の翡翠（ヒスイ）は、この鳥の色と似ていることから名づけられました。

生 息 場 所

平地から低山の河川、湖沼などに生息します。

弥栄ダム周辺では、ダム下流の小瀬川、弥栄湖およびその周辺、弥栄湖上流の小瀬川、長谷川など広い範囲で見られます。

繁 殖

繁殖期は3～8月。

河川、湖沼の水辺に近い土壁に巣穴を掘って繁殖します。

生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
繁殖期													河岸の土手や周辺の土壁
出現時期													平地から低山の河川、湖沼

ヤマセミ *Ceryle lugubris*



- **分類**
ブッポウソウ目カワセミ科
- **渡り区分**
留鳥
- **重要種指定**
準絶滅危惧【広島】
準絶滅危惧【山口】

特 徴

全長は約40cm。カワセミの仲間ですが、ハトほどの大きさがあります。体は白黒模様で、頭の羽毛は長くかんむり状に立っており目立ちます。魚類を中心に、カエル、カニ、昆虫なども食べます。河川の水面に突き出た枝の上などに止まって魚を探し、獲物を見つけると急角度で水中にダイビングして捕らえます。移動する際は「キャラッ」などと大きな声で鳴きながら、川沿いに直線的に飛翔する姿がよくみられます。

生 息 場 所

山地の谷や溪流、湖沼などに生息します。弥栄ダム周辺では、ダム下流の小瀬川、弥栄湖およびその周辺、長谷川で見られます。

繁 殖

繁殖期は3～8月。やや高い山地から平地までの、河川や湖の岸边や付近の土壁で繁殖します。くちばしを使ってトンネル状の巣穴を掘ります。

生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
繁殖期													岸边や付近の土壁
出現時期													山地の谷や溪流、湖沼

コゲラ *Dendrocopos kizuki*



- **分類**
キツツキ目キツツキ科
- **渡り区分**
留鳥
- **重要種指定**
指定なし

特 徴

全長は約15cm。日本で最小のキツツキです。
 体は黒と白のまだら模様です。頭は薄茶色で、くちばしは丈夫でとがり、尾羽はくさび形です。
 おもに木の割れ目や樹皮の中にいる昆虫類、木の実を食べます。
 「ギー」と戸がきしむような声で鳴きます。繁殖期には、「コロコロコ」と木を叩いて音を出す「ドラミング」をおこないます。

生 息 場 所

低地や低山帯の天然林、雑木林、マツ林、竹林などさまざまな樹林に生息します。
 弥栄ダム周辺では、ダム下流の小瀬川、弥栄湖およびその周辺、弥栄湖上流の小瀬川、長谷川など広い範囲で見られます。

繁 殖

繁殖期は5～7月。
 枯れ木の幹や枝に木の穴を掘って繁殖します。巣は地上1.5～10mぐらいのところに作ります。

生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
繁殖期													枯れ木の枝や幹
出現時期													雑木林、集落、市街地の周辺など

アオゲラ *Picus awokera*



- **分類**
キツツキ目キツツキ科
- **渡り区分**
留鳥
- **重要種指定**
指定なし

特 徴

全長は約30cm。
背中が緑色で、腹は灰色。オスの頭の上は全体に赤色で、メスは後頭部のみ赤色になっています。
キツツキの一種で、くちばしは長くとがっており、尾はくさび形です。
おもに木の割れ目や樹皮の中にいる昆虫類、木の実を食べます。
強い声で「キョッ、キョッ」と鳴きます。繁殖期には「ピョー」という声や、枯れ木を叩いて音を出す「ドラミング」も聞かれます。

生 息 場 所

低山地の明るい樹林に生息します。
弥栄ダム周辺では、ダム下流の小瀬川、弥栄湖およびその周辺、弥栄湖上流の小瀬川、長谷川で見られます。

繁 殖

繁殖期は4～6月。日本でしか繁殖が確認されておらず、周年日本にいる種（日本特産種）です。
生息地付近の樹林で繁殖します。他のキツツキ類は枯れ木によく巣をつくりますが、アオゲラは生木、特にサクラの木の幹によく巣穴をつくります。

生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
繁殖期													生木（特にサクラの木）の幹
出現時期													山地の樹林

ハヤブサ *Falco peregrinus*



- **分類**
ハヤブサ目ハヤブサ科
- **渡り区分**
留鳥
- **重要種指定**
絶滅危惧Ⅱ類【環境省】
要注意【広島】
準絶滅危惧【山口】

特 徴

全長は約45cm。
カラスと同じくらいの大きさで、体の腹側は白黒のしま模様があります。翼は青みを帯びた黒色です。
タカの仲間とともに猛きん類に区分されますが、タカ類とは飛翔時に翼の先がとがっていることで区別できます。
おもに鳥類を捕食します。飛んでいる他の鳥を上から急降下して足でけりつけるなどして獲物を捕らえます。急降下する時の速度は時速300km以上になるといわれています。
巣に接近する他の鳥や人間を警戒する際に、「キッキッキ」「ゲゲゲ」などと鳴きます。

生 息 場 所

平地から山地の河川、湖沼、農耕地などに生息します。
弥栄ダム周辺では、弥栄湖およびその周辺で見られます。

繁 殖

繁殖期は2～5月。
海岸や河川などに面した岸壁の、岩上やくぼみで繁殖します。巣材は使用せずに、くぼみに直接産卵します。

生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
繁殖期													岸壁の岩上やくぼみ
出現時期													河口、農耕地など開けた場所

ヤマガラ *Parus varius*



- **分類**
スズメ目シジュウカラ科
- **渡り区分**
留鳥
- **重要種指定**
指定なし

特 徴

全長は約15cm。
背中と腹がレンガ色で、頭とノドは黒色、目の下は白色です。
おもに昆虫、クモ、木の実などを食べます。
繁殖期には木の上で「ツーツーピー、ツーツーピー」とさえずります。シジュウカラの声と似ていますが、こちらの方が遅いテンポで鳴きます。
冬場になると他の種といっしょに群れをつくり生活します。
秋から冬にかけて、木の実を樹皮のすき間などに隠して、越冬中の食物として貯蔵する習性があります。

生 息 場 所

低地の樹林に生息します。特にシイ、カシの常緑広葉樹林を好みます。
弥栄ダム周辺では、ダム下流の小瀬川、弥栄湖およびその周辺、弥栄湖上流の小瀬川、長谷川など広い範囲で見られます。

繁 殖

繁殖期は4～7月。
山地の林などで繁殖します。巣は木の穴、キツツキの古巣などを利用します。巣箱もよく利用します。

生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
繁殖期													木の穴やキツツキの古巣など
出現時期													低地の樹林（常緑樹林に多い）

シジュウカラ *Parus major*



- **分類**
スズメ目シジュウカラ科
- **渡り区分**
留鳥
- **重要種指定**
指定なし

特 徴

全長約15cm。

ほおが白く、胸から腹にかけて黒いタテ筋があり、ネクタイをしているようにみえます。このネクタイはオスで太く、メスでは細くなっています。

おもに昆虫、クモ類、植物の種子や果実を食べます。

木の上で「ツピー」や「ツツピー」とよく鳴きます。ヤマガラの声と似ていますが、こちらの方が速いテンポで鳴きます。

冬場になると他の種といっしょに群れをつくり生活します。

生 息 場 所

低地から低山の樹林、樹木の多い公園、人家まで幅広く生息します。

弥栄ダム周辺では、ダム下流の小瀬川、弥栄湖およびその周辺、弥栄湖上流の小瀬川、長谷川など広い範囲で見られます。

繁 殖

繁殖期は4～7月。

山地の林などで繁殖します。巣は木の穴やキツツキの古巣、電柱の穴などを利用します。巣箱もよく利用します。

生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
繁殖期													木の穴やキツツキの古巣など
出現時期													林や公園、市街地など

コシアカツバメ *Hirundo daurica*



- **分類**
スズメ目ツバメ科
- **渡り区分**
夏鳥
- **重要種指定**
指定なし

特 徴

全長は約20cm。ツバメよりもひとまわり大きい体です。
名前のとおり腰の部分が赤いツバメで、腹に短い縦筋模様があります。背中には光沢のある紺色で、二又に分かれた長い尾を持ちます。
空中を飛翔しながら、飛んでいる昆虫を食べます。
「ジュビッ、チビッ、ジュカカカ」などと細かく複雑な声で鳴きます。
ツバメと似ていますが、ツバメは頭から腰まで一様に青く、腹に縦筋模様はありません。

生 息 場 所

市街地、農耕地などに生息します。
弥栄ダム周辺では、ダム下流の小瀬川、弥栄湖およびその周辺で見られます。

繁 殖

繁殖期は5～8月。
橋の下や軒下などの天井にとっくり形の巣を作り繁殖します。（ツバメは天井から少し離してお椀型の巣を作ります）

生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
繁殖期													橋の下や軒下
出現時期													市街地、農耕地など

ヒヨドリ *Hypsipetes amaurotis*



- **分類**
スズメ目ヒヨドリ科
- **渡り区分**
留鳥
- **重要種指定**
指定なし

特 徴

全長は約30cm。
やや細身で尾の長い鳥です。全体に青みがかった灰色で、胸には白い模様があります。くちばしは黒く、ほおのあたりが明るい茶色になっています。
おもに草木の実を食べます。
「ピーヨ」や「キーヨ」と甲高い声で鳴きます。
春と秋に国内で短い渡りをおこない、特に秋には大きな集団がみられることもあります。昔は山地に生息していましたが、今では都市部にもすみついています。

生 息 場 所

平地の都市部から山地の森林まで、樹木のある広い環境で生息します。
弥栄ダム周辺では、ダム下流の小瀬川、弥栄湖およびその周辺、弥栄湖上流の小瀬川、長谷川など広い範囲で見られます。

繁 殖

繁殖期は5～7月。
低山帯、平地の深い森林、市街地の公園などの木の枝で繁殖します。枯枝、樹皮、枯れ草、落ち葉などを主材として巣を作ります。

生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
繁殖期													森林や公園などの木の枝
出現時期													平地の都市部から山地の森林まで

ウグイス *Cettia diphone*



- **分類**
スズメ目ウグイス科
- **渡り区分**
留鳥
- **重要種指定**
指定なし

特 徴

全長は約15cm。

体はオリーブ色で、目の上に体色よりは淡い色の線があります。

笹藪などの下を動き回り、昆虫や木の実を食べます。

「ホーホケキョ」と大きな声でさえずること知られている鳥です。「ホー」は吸う息、「ホケキョ」は吐く息で、胸をいっぱいふくらませてさえずります。また、さえずりの他、「ジャッ、ジャッ」「チャッ、チャッ」という笹鳴きと言われる声も発します。

一般に言われる「鶯（ウグイス）色」は本種の色ではなく、似たような場所で目にすることの多いメジロの色です。

生 息 場 所

低地から山地まで広く生息します。

弥栄ダム周辺では、ダム下流の小瀬川、弥栄湖およびその周辺、弥栄湖上流の小瀬川、長谷川など広い範囲で見られます。

繁 殖

繁殖期は4～8月。

山地の低木林、笹原、草原などで繁殖します。低木の枝や笹の上に、枯れ草、笹の枯れ葉などでボール型の巣を作ります。

生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
繁殖期													低木、笹原、草原
出現時期													低地から山地までの広い範囲

エナガ *Aegithalos caudatus*



- **分類**
スズメ目エナガ科
- **渡り区分**
留鳥
- **重要種指定**
指定なし

特 徴

全長は約14cm。体重が8グラムほどの小さな鳥です。
白く小さな体に長い尾をもちます。眉には黒い模様があります。
おもに昆虫や果実を食べます。
「ジュリリ、ジュリリ」という特徴のある声を発しながら林内を移動する群れがよくみられます。
冬場には数羽から30羽前後の群れで行動し、他種が混じることもあります。

生 息 場 所

低山地の樹林に生息します。
弥栄ダム周辺では、ダム下流の小瀬川、弥栄湖およびその周辺、弥栄湖上流の小瀬川で見られます。

繁 殖

繁殖期は3～6月。
平地や山地の木の枝で繁殖します。コケを集めてクモの糸ではり付けた球形の巣を木の枝に作ります。

生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
繁殖期													平地や山地の木の枝
出現時期													低山地の樹林

カワガラス *Cinclus pallasii*



- **分類**
スズメ目カワガラス科
- **渡り区分**
留鳥
- **重要種指定**
準絶滅危惧【山口】

特 徴

全長は約22cm。
体はずんぐりしていて、全体がチョコレートのような茶色みのある黒色。体のわりに短い翼や尾をもちます。
川の中に潜り、水底を歩きながら水生昆虫や小魚などを食べるのが特徴です。
「ヴィッ」や「ビッ」と聞こえる太めの声を出しながら水面すれすれを飛んだり、腰を上下に振りながら水辺の岩の上を移動する姿がよくみられます。

生 息 場 所

年間を通じて河川の上流域や湖畔に生息します。常に水辺の近くで生活しています。
弥栄ダム周辺では、ダム下流の小瀬川、弥栄湖およびその周辺、弥栄湖上流の小瀬川で見られます。

繁 殖

繁殖期は3～6月。
おもに山地の谷川沿いで繁殖します。岩壁、橋の下、滝の裏の岩のすき間などにコケ類でできた巣を作ります。

生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
繁殖期													岩壁や滝裏の岩のすき間
出現時期													河川の上流域や湖畔

ルリビタキ *Tarsiger cyanurus*



- **分類**
スズメ目ヒタキ科
- **渡り区分**
冬鳥
- **重要種指定**
指定なし

特 徴

全長は約15cm。
腹は白く、わき腹は黄色。オスは頭から背中にかけて鮮やかな青色、メスは全体にくすんだ茶色で、尾は青みがかっています。
おもに昆虫や果実を食べます。
高い声で「ヒッ、ヒッ」と鳴いたり、ジョウビタキよりも太い「カタタッ、カタタッ」という声で存在がわかることが多くあります。

生 息 場 所

平地から山地の林に生息します。
弥栄ダム周辺では、ダム下流の小瀬川、弥栄湖およびその周辺、弥栄湖上流の小瀬川、長谷川で見られます。

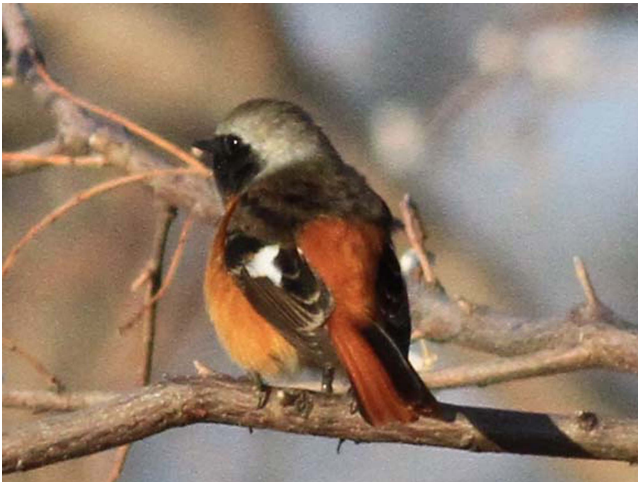
繁 殖

繁殖期は5～8月。弥栄ダム周辺では冬鳥で、繁殖期になると高山や北国へ移動します。

生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
出現時期													平地から山地の林

ジョウビタキ *Phoenicurus aureus*



- **分類**
スズメ目ヒタキ科
- **渡り区分**
冬鳥
- **重要種指定**
指定なし

特 徴

全長は約15cm。
オスは頭が淡い銀色で、顔は黒く、胸から腹にかけて美しいオレンジ色です。オスに対して、メスは全体にくすんだ茶色で、尾はオレンジ色です。
オス、メスとも、翼に目立つ白い模様があります。このことから、本種を「紋付鳥」と呼ぶ地方もあります。
おもに昆虫や草木の実を食べます。
すんだ声で「ヒッ、ヒッ」と鳴きます。また、ルリビタキよりも細い声で「カタタッ、カタタッ」と発します。
名前の「ジョウ」は「尉」で、能の老翁（おきな）を意味します。オスの後頭部が銀色であることから、「白髪のおじいさんみたいなヒタキ類」という意味でジョウビタキと名付けられました。

生 息 場 所

農耕地、河原、明るい林のふちなどの開けた環境に生息します。市街地でもふつうにみられます。弥栄ダム周辺では、ダム下流の小瀬川、弥栄湖およびその周辺、弥栄湖上流の小瀬川、長谷川など広い範囲で見られます。

繁 殖

繁殖期は5～8月。弥栄ダム周辺では冬鳥で、繁殖期になると北国へ移動します。

生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
出現時期													明るい林や農耕地、市街地

キビタキ *Ficedula narcissina*



- **分類**
スズメ目ヒタキ科
- **渡り区分**
夏鳥
- **重要種指定**
指定なし

特 徴

全長は約14cm。
オスは背中が黒色、胸と腰が黄色、目の上にも黄色い線があり美しい色彩です。メスは全体的に暗いオリーブ色です。
おもに昆虫、果実などを食べます。
林内の枝を飛び渡りながら、明るく大きな声で、フルートの音のように「ピィチュリ、ピィ、ピピリ」と鳴きます。

生 息 場 所

丘陵や山地の樹林地に生息します。
弥栄ダム周辺では、ダム下流の小瀬川、弥栄湖およびその周辺、弥栄湖上流の小瀬川で見られます。

繁 殖

繁殖期は5～8月。
木の穴や幹のすき間などで繁殖します。枯れ葉、枯れ草、コケ類などを用いて、深い碗型の巣をつくります。キツツキ類の古い巣穴や巣箱を利用することもあります。

生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
繁殖期													木の穴や幹のすき間
出現時期													丘陵や山地の樹林

オオルリ *Cyanoptila cyanomelana*



- **分類**
スズメ目ヒタキ科
- **渡り区分**
夏鳥
- **重要種指定**
準絶滅危惧【山口】

特 徴

全長は約15cm。
オスは腹が白色、胸が黒色、背中が瑠璃色でコントラストが美しく目立ちます。メスは全体に暗いオリーブ色です。
おもに昆虫やクモ類を食べます。空中を飛ぶ昆虫を飛びながら捕えて食べることもあります。
声のよい鳥として、ウグイス、コマドリとともに日本三鳴鳥のひとつに数えられています。「ピールーリーリージジッ」などと、高くゆるやかな声でさえずります。

生 息 場 所

山地や丘陵に生息しており、特に溪流沿いのよく生い茂った林に多く生息します。
弥栄ダム周辺では、ダム下流の小瀬川、弥栄湖およびその周辺、弥栄湖上流の小瀬川、長谷川で見られます。

繁 殖

繁殖期は5～8月。
山地の溪流沿いにある樹林内の崖地で繁殖します。岩壁や土壁に、コケを大量に用いたお椀型の巣を作ります。

生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
繁殖期													林内の岩壁や土壁
出現時期													溪流沿いの林

キセキレイ *Motacilla cinerea*



- **分類**
スズメ目セキレイ科
- **渡り区分**
留鳥
- **重要種指定**
指定なし

特 徴

全長は約20cm。
腹から腰にかけて鮮やかな黄色が目立ちます。頭から背は黄色がかった灰色です。オスは喉が黒く、メスはやや白っぽくなります。
水辺の昆虫やクモなどを食べます。地面にいるときはつねに尾を上下に動かしながら行動する習性があります。
大きな波形を描いて飛びながら、「チチン、チチン」と金属的な声で鳴きます。また、繁殖期には、電線や屋根の上に止まり「チチチチ」などという声でさえずります。

生 息 場 所

平地から山地の川岸、湖岸などの水辺に多く生息します。
弥栄ダム周辺では、ダム下流の小瀬川、弥栄湖およびその周辺、弥栄湖上流の小瀬川、長谷川など広い範囲で見られます。

繁 殖

繁殖期は4～8月。
水辺の石垣や崖のくぼみ、人家の軒下や屋根のすき間などを利用して繁殖します。枯れ草や細い草の根などを用いて皿型の巣を作ります。

生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
繁殖期													石垣や崖のくぼみ、軒下など
出現時期													平地から山地の川岸、湖岸などの水辺

セグロセキレイ *Motacilla grandis*



- **分類**
スズメ目セキレイ科
- **渡り区分**
留鳥
- **重要種指定**
指定なし

特 徴

全長は約20cm。日本特産種（日本でしか繁殖が確認されておらず、周年日本にいる種）です。目の上と腹は白く、頭や目の下、胸、背中黒くなっています。水辺を歩きながら、昆虫やクモなどを食べます。地面にいるときはつねに尾を上下に動かしながら行動する習性があります。大きな波形を描いて飛びながら、「ジジー、ジジー」と濁った声で鳴きます。また、繁殖期には、電線や屋根の上に止まり「チチージョイジョイチチチ」などという声でさえずります。よく似ているハクセキレイは、目の上下が白いこと、目の後ろに黒い線があることで区別できます。

生 息 場 所

平地から山地の河川、湖沼、農耕地などに生息します。都会でも近くに水辺があればよくみられます。弥栄ダム周辺では、ダム下流の小瀬川、弥栄湖およびその周辺、弥栄湖上流の小瀬川、長谷川で見られます。

繁 殖

繁殖期は3～7月。集落や水辺周辺の屋根や石垣のすき間、草木の根元などで繁殖します。枯れ草や樹皮などで巣を作り、内部には羽毛や糸くずなどを敷きます。

生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
繁殖期													集落や水辺周辺
出現時期													平地から山地の河川、湖沼、農耕地

カワラヒワ *Carduelis sinica*



- **分類**
スズメ目アトリ科
- **渡り区分**
留鳥
- **重要種指定**
指定なし

特 徴

全長15cm。
体はオリーブ色で、太いくちばしをもっています。翼と尾に鮮やかな黄色の斑があり、飛ぶとよく目立ちます。
おもに草木の種子を食べます。
「キリリ、コロロ」などと鳴き、繁殖期には「ビーン」というさえずりを交えます。
繁殖後は草地の広い河原でみられることが多いので、「河原」ヒワの名がつけられました。また秋冬には数十羽の群れをつくり、生活しています。

生 息 場 所

おもに平地から低山地の樹林に生息します。
弥栄ダム周辺では、ダム下流の小瀬川、弥栄湖およびその周辺、弥栄湖上流の小瀬川、長谷川など広い範囲で見られます。

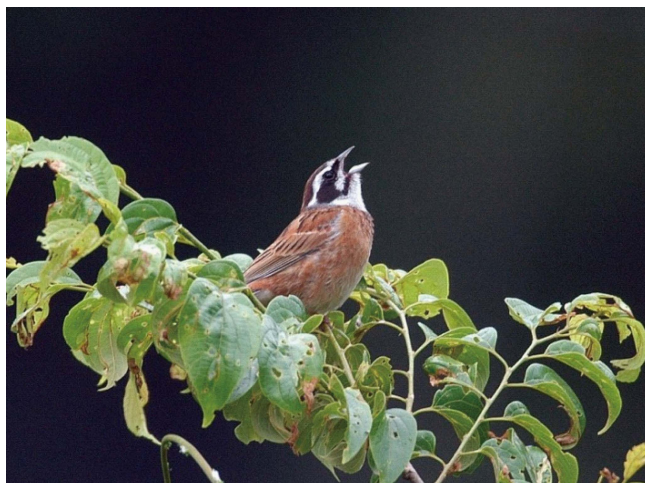
繁 殖

繁殖期は3～7月。
低山地から平地の林、街路樹などで繁殖します。木の枝上に、草の根、樹皮、獣毛、糸くずなどを用いて碗型の巣を作ります。

生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
繁殖期													林、公園、市街地の庭など
出現時期													平地から低山地の樹林

ホオジロ *Emberiza cioides*



- **分類**
スズメ目ホオジロ科
- **渡り区分**
留鳥
- **重要種指定**
指定なし

特 徴

全長約17cm。

体は全体に赤茶色で、背中に黒色の縦筋模様があります。オスは顔に黒白の模様があり、ほおのあたりが白くみえることから、ホオジロの名が付けられています。

おもに昆虫、植物の種子や果実を食べます。

木のごずえなどの目立つところで、早口に「チョッピーチリーチョチーツク」などとさえずります。この長く複雑なさえずりは「一筆啓上つかまつり候」「サッポロラーメン、ミソラーメン」などと聞きなされます。また、草藪の中などで「チチツ、チチツ」という、二音ずつ、つばやくような声もよく聞かれます。

生 息 場 所

平地から山地の、低木のある河川敷や明るい林縁、ススキ草原などに多く生息します。

弥栄ダム周辺では、ダム下流の小瀬川、弥栄湖およびその周辺、弥栄湖上流の小瀬川、長谷川など広い範囲で見られます。

繁 殖

繁殖期は4～9月。

樹林地で繁殖します。低木の枝や地上に、イネ科植物の茎や草の根などで碗形の巣を作ります。

生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
繁殖期													低木の枝上
出現時期													低木のある河川敷や明るい林縁 など